

平成21年3月時刻改正 新しい輸送サービスのご案内

平成20年12月19日
日本貨物鉄道株式会社

JRグループでは平成21年3月14日(土)にダイヤ改正を実施いたします。
このたび、ダイヤ改正の内容について調整が終了しましたのでお知らせいたします。
この資料は、貨物列車の改正内容についてまとめたものです。

JR貨物では、モーダルシフトの担い手として、「マーケットから選択される良質な商品づくり」「安定輸送の確保」を目指し、列車の増発・速達化、翌日配達圏の拡大等、コンテナ輸送をさらに便利にしていきます。このたび、改正の概要がまとまりましたので、ご案内いたします。

**下り：東京(夕)を23時台に発車する福岡(夕)行き列車を増発します
上り：福岡(夕)発隅田川行き列車を増発し、東北向け輸送ルートを拡充します**

お客様からの要望が強い、深夜発の関東九州行き1本を新たに運転し、輸送サービスの向上を図るとともに、福岡(夕)隅田川行きの直行列車を運転し、九州から東北をはじめとする東日本エリアへの輸送ルートを拡充します。

	列車番号	発駅 (発時刻)	着駅 (着時刻)	停車駅	記 事
下り	7055	東京(夕) 23:40	福岡(夕) 翌日 18:38	西岡山 北九州(夕)	2 6 両編成 (北九州夕 福岡夕間 2 2 両編成)
上り	7054 ~ 6054	福岡(夕) 18:48	隅田川 翌日 19:50	北九州(夕) 岐阜(夕) 横浜羽沢	2 4 両編成 (横浜羽沢 隅田川間 1 8 両編成)

隅田川始発・東京(夕)午前発の九州行きを新設し、北海道、東北からの輸送ルートを拡充します

東京(夕)発午前中の九州行き列車を運転し、北海道・東北発で関東地区を中継する貨物のリードタイム改善を図り、輸送需要の多様化に対応します。また、同一時間帯に偏っていた九州行き列車群を分散することにより、輸送障害時にも関東九州ルートを寸断させることがない輸送体系とします。

列車番号	発駅 (発時刻)	着駅 (着時刻)	停車駅	記 事
86 ~ 2076 ~ 1077	隅田川 0:02	北九州(夕) 翌日 6:16	越谷(夕) 東京(夕) 静岡貨物 岐阜(夕)	東京(夕)(11:16 発) 2 4 両編成(隅田川~越谷夕間 1 8 両編成)

コンテナ列車の輸送力を増強します

輸送需要の強い区間において、コンテナ列車の編成両数を増やし、輸送力の増強を図ります。

現行 列車番号	発駅	着駅	現行 編成 両数	改 正		
				改正 列車番号	編成 両数	増強区間
7051	東京(夕) 2:57	福岡(夕) 翌日 0:44	2 2	7051	2 6	東京(夕) 北九州(夕)
7050	福岡(夕) 12:19	東京(夕) 翌日 8:18	2 2	7050	2 6	北九州(夕) 東京(夕)
2091	名古屋(夕) 19:11	八代 翌日 14:49	2 4	5057	2 6	名古屋(夕) 北九州(夕)
2090	鹿児島(夕) 16:16	名古屋(夕) 翌日 15:16	2 4	5056	2 6	北九州(夕) 名古屋(夕)

関西発鳥栖行き直通輸送力を設定します

関西発鳥栖行きの直通輸送力を設定し、需要にお応えするとともに、他輸送機関との競争力を強化します。

列車番号	発駅	接続駅	着駅	記事
57 ~ 8091	大阪(夕) 20:49	北九州(夕) 翌日 5:02 / 5:35	鳥栖(夕) 翌日 7:21	北九州(夕)で 57 列車から 8091 列車へ接続します。

北関東始発の関西行き直通列車を増発します

現在、東京(夕)発の列車を新座(夕)始発に変更し、北関東地区から近畿圏向けの直通輸送力の拡充を図ります。

	列車 番号	発駅	着駅		列車 番号	発駅	着駅	
現行	55	東京(夕) 20:44	梅 田 翌日 4:22	⇒	改正	1085	新座(夕) 20:01	梅 田 翌日 4:22

1085 列車の発駅変更に伴い、高崎地区からの直通輸送力及び、4062 ~ 5063 列車(宇都宮(夕) ~ 大阪(夕))における宇都宮地区からの輸送力を拡大します。

コンテナ列車のさらなる速達化を行います

主要都市間を結ぶコンテナ列車の速達化により、コンテナ輸送のサービス向上を図ります。

発地域	運転区間		現行				改正				短縮時間
	発駅	着駅	列車番号	発時刻	着時刻	輸送時間	列車番号	発時刻	着時刻	輸送時間	
北海道	札幌(夕)	福岡(夕)	3098～2071	21:50	11:37	37h47	3098～2071	21:50	10:57	37h07	0h40
	札幌(夕)	名古屋(夕)	3084～5097～3077	4:25	19:10	38h45	3084～5097～3077	4:25	18:03	37h38	1h07
関東	隅田川	札幌(夕)	3055	12:27	6:22	17h55	3055	12:27	6:05	17h38	0h17
東海	西浜松	札幌(夕)	3070～3081	20:36	1:41	29h05	3070～3081	20:40	1:25	28h45	0h20
	西浜松	福岡(夕)	7059～9059	20:50	12:31	15h41	7059～8059	20:48	12:12	15h24	0h17
関西	金沢(夕)	宇都宮(夕)	73～2072～2087	18:32	7:12	12h40	73～2072～2087	18:32	6:20	11h48	0h52
	広島(夕)	札幌(夕)	1062～3061	20:09	10:59	38h50	1062～3061	21:15	10:59	37h44	1h06

翌日配達圏の拡大など、リードタイムの短縮を図ります

主要都市及び地方中核都市間のコンテナ輸送について、翌日配達ネットワークの拡充を図ります。

区間	現改	輸送ルート	中継駅	リードタイム	記事
福岡(夕) 隅田川	現行	7050 - 2079	東京(夕)	午前集荷：翌日夜間配達	
	改正	7054～6054	なし	午後集荷：翌日夜間配達	
南長岡 名古屋(夕)	現行	80v90 ～4082～82	なし	午後集荷：3日目午前配達	
	改正	90～4082～82	なし	午後集荷：翌日午前配達	
姫路貨物 土浦	現行	5064 - 2073 - 2095	東京(夕)・ 越谷(夕)	午後集荷：3日目午後配達	
	改正	1078 - 2095	東京(夕)	午前集荷：翌日午前配達	
熊谷(夕)・倉賀野 宮城野	現行	5882v91	なし	午前集荷：翌日午前配達	
	改正	3098v91	なし	午後集荷：翌日午前配達	

輸送ルート欄 - は中継、Vは特継を表す。

大型コンテナ輸送ネットワークを拡大します

大型コンテナの需要は引き続き高く、モーダルシフトを推進する有効な手段となっていることから、重量コンテナ（ISO 24 トンコンテナ等）が積載可能な貨車の投入を積極的に進め、大型コンテナネットワークを拡大します。

【新たな大型・重量コンテナ輸送区間及び増強区間】

区間	列車番号	改正	記事
新潟(夕) 東青森	2091-1657	㊦106 形式 コンテナ車増備	輸送力拡大
東青森 新潟(夕)	1656-1658-2090	㊦106 形式 コンテナ車配備	輸送力拡大
苫小牧 帯広	5471	㊦104 形式 コンテナ車増備	輸送力拡大
帯広 苫小牧	5470	㊦104 形式 コンテナ車増備	輸送力拡大
京葉久保田 東青森	1092-3079	㊦106 形式 コンテナ車配備	直通ルート新設

高速石油列車を増発します

高速走行が可能なタンク車(タキ1000形式：最高速度95km/h)の投入を推進し、石油列車の速達化を行い、サービスの向上を図ります。

現 行			改 正			
列車 番号	発 駅	着 駅	列車 番号	発駅	着駅	記 事
8966 ~ 8885	千葉貨物 22:37	倉賀野 翌日 9:53	3091	千葉貨物 11:58	倉賀野 15:32	95km/h
5882 - 8963	倉賀野 14:16	千葉貨物 21:16	3090	倉賀野 18:15	千葉貨物 22:36	
5278 ~ 5279	根 岸 18:43	八王子 21:06	92 ~ 81	根 岸 11:14	八王子 12:44	95km/h
5270 ~ 5269	八王子 10:49	根 岸 12:59	84 ~ 95	八王子 8:59	根 岸 11:28	
8271 ~ 8273	根 岸 6:28	八王子 8:20	8094 ~ 8097	根 岸 6:38	八王子 8:20	95km/h
8272 ~ 8274	八王子 12:40	根 岸 14:59	8092 ~ 8095	八王子 13:11	根 岸 14:59	

機関車・コンテナ車・コンテナを新製・増備します

安全性及び輸送品質の向上を図るため、輸送機材の設備投資を積極的に行います。

【機関車】 27両の新製を行います。

【コンテナ車】 144両の新製投入を行います。

【コンテナ】 4,800個の新製を行います。

- ・ 19D形式（両側開きタイプ） 1,000個
- ・ 19G形式（妻側開きタイプ） 1,000個
- ・ V19B形式（妻側開き通風タイプ） 1,600個
- ・ V19C形式（両側開き通風タイプ） 1,200個